

準備はできていますか？



2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、2018年6月の大阪北部の地震と大きな地震が発生する日本。先月も福島県沖を震源とする、最大震度6強の大きな地震がありました。「地震に備えてなにかやらなければ！でも、何を用意すればいいの？」そう感じる方も少なくないのではないでしょうか？今回は最低限備えておきたい防災用品を紹介します。

備えておきたい防災7つ道具

- 1. 缶詰食・水** → **1人3L×3日分**
震災後はライフラインが止まり、時間がたつと水や食料の姿がなくなることも。
災害発生から3日間は支援の手も届きにくい為、何とか水・食料は確保しておきたいところです。
- 2. 簡易トイレ** → **断水に備えて**
水道や電気が止まってしまうと、排せつ物を流す水も利用できなくなります。避難先では不特定多数の人が利用する為、絶対数が少なくなり不衛生になることも少なくないのが現実です。
- 3. 手回し充電ラジオ** → **情報取得の為**
災害時に「**情報が手に入らない**」のは死活問題。複数人でも聞ける為手回し充電可能なラジオはおすすめです。ライト付きのものもあるため、一家に一台あると便利です。
- 4. ソーラーつき充電器** → **スマホの充電**
生活必需品ともいえるスマートフォン。既存のモバイルバッテリーの多くは、家庭用コンセントからの充電を行うタイプです。太陽の光でも蓄電可能なソーラーパネル付きがおすすめです。
- 5. 保温アルミシート** → **冷え込み対策**
災害時に利用する保温用アルミシートは「サバイバルシート」とも呼ばれています。朝晩冷え込む季節は体温調整が難しいことも。お子様、シニアの方を中心に、特に体調を崩しやすい方は「**身体を冷やさない**」ことが重要です。
- 6. 食品用ラップ** → **お皿替わりや、万が一ケガした場合の止血**
食品用ラップは災害時に大活躍のすぐれもの。出血箇所直接当てて止血するときにも利用可能ですし、断水時に洗い物を少なくするために、避難所ではお皿の上において利用することも可能です。何本か用意しておく安心です。
- 7. ウェットティッシュ** → **手ふき、身体ふき**
ライフラインがストップすると手洗い、うがい、洗髪が難しくなり、衛生面も気になります。ウェットティッシュを利用して最低限除菌をしましょう。最低限身だしなみをきれいにしておくことで、心理的にも少し元気になれるし、避難先での生活品質もグッと向上します。

保険を確認することも防災です！

「火災保険の補償内容の再確認」も万一の災害の場合の早期復旧の為に大切なことです。万が一の事故の際に、「保険で払ってもらえると思っていたのに・・・」と大きな後悔をしないよう、一度確認してみてください。確認のポイントは以下の通りです。

1. 地震保険はいくら付いているか？（万一地震で自宅が倒壊した場合どうするか想定してみましょう）
2. 水災補償は実損払か？（保険金が削減される場合もあります）
3. 台風の風災に対しいくらまで補償されるか？（金額制限がある場合もあります）
4. 建物だけでなく家財にも保険が付いているか？
5. 火災保険の補償内容はどこまでか？偶然な事故は対象か？

必見！

「保険証券を見てもわからないよ！」という方はご連絡下さい。詳しくご説明させていただきます。（もちろん他社の契約でもご相談OKです。）

<取扱代理店>



まずはお気軽に担当者までご相談下さい。



株式会社 保険代理店ロイド

〒251-0055 藤沢市南藤沢23-6 富士見ビル4F

TEL.0466-50-2510 FAX.0466-50-0749

（営業時間：月～金 9:00～17:30）

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

承認日
2021.3.12
承認番号
SJ20-16688

ロイド かわら版

第9号

令和3年
3月号

発行所

保険代理店ロイド

年
に一回は防災用品の確認を！
合わせて火災保険も確認しましょう！

今月の弊社からのアドバイス！



<引受保険会社>
損害保険ジャパン株式会社
SOMPOひまわり生命株式会社
第一生命保険株式会社